

令和 6年 3月1日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

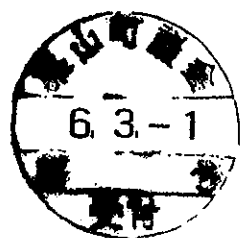
栗山町議会議員 藤本光行



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和 6年 1月 31日 ～ 2月 1日
- 2 旅 行 先 東京都 早稲田大学井深大記念ホール
- 3 目 的 マニフェスト大賞受賞者による研修会
「Manifesto Awards Collection」での研修
- 4 関係書類 別紙のとおり



マニフェスト大賞の成果を振り返り未来を展望する

2024.

01.31 ▶ 02.01

Wed.

Thu.

Waseda University
& Zoom



Manifesto Awards Collection



Day1 [01/31 14:00-18:00]

“議会広報が変えた 住民とのコミュニケーション”

東京都あきる野市議会 × 神奈川県開成町議会 ×
北海道虻田町議会 × 埼玉県寄居町議会

- 事例発表 (各 10 分)
- トーク・質疑 (70 分)

“マニフェスト大賞が変えた 議会と最新のトレンド”

江藤 俊昭 氏 (大正大学社会共生学部教授、マニフェスト大賞審査委員)
中村 健 氏 (早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長)

- 江藤氏講演 (20 分 ※オンライン)
- 中村氏講演 (20 分)
- 会場トーク (60 分)

意見交換会

- 18 時 30 分から (2 時間) 早稲田大学大隈ガーデンハウスにて開催
- 事前申込制 (希望者のみ)
- 会場のみ (オンライン配信無し)
- 別途軽飲食代 4,000 円 (税込) 当日支払

Day2 [02/01 10:00-15:00]

“若者の参画と意見反映 シティズンシップの未来”

西尾 真治 氏 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員、マニフェスト大賞審査委員)
愛知県新城市若者議会 × こども選挙実行委員会 ×
カタリバ × NPO 法人わかものまのまち 代表理事 土肥 潤也 氏

- 西尾氏基調提起 (15 分)
- 事例発表 (各 10 分)
- トーク・質疑 (50 分)

分科会 ※オンライン配信無し

- [1] 「議会広報」分科会
- [2] 「議会改革の動所と最新のトレンド」分科会
- [3] 「若者の参画と意見反映」分科会

日 時 ● Day1 2024 年 1 月 31 日 (水) 14 時 - 18 時 (終了後意見交換会あり)
● Day2 2 月 1 日 (木) 10 時 - 15 時 (途中昼食休憩あり)

会 場 ● 早稲田大学井深大記念ホール (先着 200 名様)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1 丁目 20-14
● Zoom ミーティング
● 後日レコーディング配信あり (事前申込者のみ)

参加費 ● 議員 11,000 円 (税込)
● 議員以外 5,500 円 (税込)
※ 2 日間通しの参加費です。

お申込み ● ウェブサイトまたは裏面 FAX 申込用紙より
● 申込期日 1 月 26 日 (金) 正午

注意事項 ● Day2 分科会はオンライン配信はございません。
● 申込期日 (1 月 26 日) 以降のキャンセルの場合ご返金できません。申込期日までのキャンセルは全額返金します。
● 申込期日 (1 月 26 日) 以降の意見交換会キャンセルはキャンセル料 (100%) を申し受けます (料理の発注のためご理解ください)。

お問合せ ● 事務局 早稲田大学マニフェスト研究所 担当: 亀井・山内
メール: mani@maniken.jp 電話: 03-6709-6739

マニフェスト・アワード・コレクション



<https://maniken.jp/manitaiseminar/collection>



日 時	令和 6 年 / 月 3 / 日 14:00 ~ 18:00
視 察 先	マニフェスト大賞受賞者による研修会への参加
調査事項	。議会広報において マニフェスト大賞を受賞された 先進自治体の事例発表を聞き、今後に生かす。
対 応 者	なし
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1. 当議会でも選挙後の新体制となり議会たよりの 作成を担当する広報小委員会も新メンバーとなった ことから、小委員会の中では「ぎかいたより」の リニューアルを進めている。 先進自治体と一緒に会し事例発表を行う、その 要旨について意見交換する内容の研修会 ということなので 情報収集とし、今後の 「ぎかいたより」リニューアルに生かす。 2. 東京都あきる野市議会、神奈川県開成町議会 北海道鷹栖町議会、埼玉県寄居町議会 4自治体の議会広報での取り組みについての 事例発表とトークセッション。 。江藤 俊昭氏と中村 健氏による 地方議会での 最新のトレンド（議会広報を含む）についての 講演。 4. 本町議会でも 年4回 くりやまぎかいたよりと 発行している。リニューアルに向け 先進事例を 聞いた。 4自治体の取り組み発表を聞いたが 議会広報の充実に向けての手法はそれぞれであり 本町での活用を見通した時 寄居町議会の

行っている議会たよりへの取り組みが
大変参考になった。

寄居町議会たよりは、ここ数年、町村議会たより
全国コンクールでトップであり続けている。

その要因は、たよりの基本である、全体紙面
の見やすさ、わかりやすさ、図や写真の多用、
などの徹底と、記事中に、一般住民を多く
登場させることで新規読者を獲得しつづける
ということだ。

この点については、見習わなければならな
い点である。

もう一つ、あきる野市議会たよりがあるが
まず表紙の洗練さがさめたといえる。

表紙を見て、手に取ってとうとうというとは、
民間雑誌等でも同じであると思うので、議会と
いう堅苦しく、伝統を重んじる思考からの
脱却ということも考えなければならぬ。

住民に身近な広報づくりについて今一度
考え、実践していきたい。

日 時	令和 6 年 2 月 1 日 10:00 ~ 15:00
視 察 先	前 項 と 同 い
調 査 事 項	、
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背 景 ② 特 徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1. 当議会では、議員のたり手不足が近年の課題となっている。 課題解決の1つの手法として、議会主催による「議員の学校」を昨年開催し、一定程度の成果を見たところである。 一方で住民の政治はたまりの傾向は顕著で、その解決のためには、地道な主権者教育がかかせない。 議会が取りくむ主権者教育の実践にはどのようなものがあるのか、先進事例について学ぶ。 4. “若者の参画と意見反映システム”の未来”と題し、4団体から、若者や子どもの政治や選挙への関わりについて報告があったが、どれも、NPO法人や市民で作る実行委員会など、自発的任意団体による政治参加の手法であった。 一定程度の人口を擁する市での事例であり、市民活動の活発さがかうかえた。 議会が議会として同様な事を行うことは

法的しほりもある。まったく同様に、とはい
かないが 学校 (小、中、高) での出前講義や
議会モニター制度の 学生への拡大など
幼少期から 政治、行政 リテラシーの向上を
ほかの手助けができる 議会活動を
模索していきたい。